

「原発ゼロ」調布行動 ニュース 2023年1月12日

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。今日は、フクシから11年10か月の1月11日（水）の「第121回行動」の報告と、2月11日（土）に行なう「第122回行動」のご案内をお届けします。
(編集者)

阻止しよう原発積極活用と大軍拡



60人で第121回「原発ゼロ」調布行動

今回の司会・進行は「原発のない暮らし@ちょうふ」のみなさん。司会は佐橋正文さん、進行と記録は菅野千文さんと堀北理枝子さん、マイクなど機材準備は鈴木勝雄さん、写真は鈴木彰が受け持ちました。
(編集部)



◆歌：「たんぼぼ」

◆司会：佐橋正文さん（西つつじが丘） 今日で121回目の集会です。いま、原発のリプレース（建て替え）、運転期間の延長など、原発推進やGXに関連する文書が4つ、パブリック・コメント（パブコメ）にかけてられています。原発政策の転換をとめるために、ぜひ一言でも書いて提出しましょう。



◆大松由紀子さん（柴崎） 1月22日（日）に「核兵器禁止条約発効2周年記念行事」が各地で開かれます。調布でも、調布原水協がよびかけて12時～13時までこの駅前広場で開催することにしましたので、ぜひご参加ください。

◆杉崎哲夫さん（国領町） 歌謡曲「好きになった人」の替え歌で「イヤになった人」を歌ってからスピーチ。 政府は原発の新增設も検討しています。また、防衛費の倍増など、決め方・やり方がおかしい。安倍首相以上にひどい。岸田首相ははじめのころからすると、いつのまにかタカ派になっていて残念ではない。このままでは、日本がだめになる。打倒しなければなりません。



◆鈴木ヒデヨさん（国領町） グリーンホール前広場を斜めに楕円形の、今の1・5倍のロータリーがつくられ用としているが、こういう集会を行なうスペースもなくなることを心配していつも発言させていただいている。今日は別件だが、1月3日の東京新聞に、多摩地区の井戸水から有機フッ素化合物（PFAS）が検出された記事が掲載された。調布は市内3か所の給水施設のうち、上石原給水所からも高い数値が出た。横田基地からの廃棄物に起因する疑いがあるが、調布市からの説明はない。水道事業は都の運営だから関係ないという態度で、民間団体が多摩地区の住民の血液検査をしているが、本来なら行政が行うべきことだ。

◆佐藤真理子さん（富士見町、土建） 今年も、今度は大型バスで福島の見察を予定している。後継者である若者たちにも声をかけている。福島で起きたことを風化させないために、頑張ります。



◆歌：「群青」（福島の小高中学校の先生・生徒がつくった歌）

◆古川博資さん（多摩川） 日本は敗戦後、原発が抑止力にもなると言って推進してきたが、今回プーチンが核使用に言及するもとの、日本の原発は脅威となっている。日米安保条約で縛られてきた日本は、安保法制を成立させ、岸田政権はミサイル発信基地（核攻撃基地）を持つという閣議決定をして、これをアメリカにアピールしている。今こそ憲法41条「国会に立法権がある」ことを確認し、閣議決定や自公合意での強行採決を許さず、憲法で闘う必要がある。

◆河野良彦さん（布田、調友会） 私は被爆者だが、今日は別の角度から話してみたい。私は原発の部品を製作して納める仕事をしてきた。年に一度、原発の点検に行く。しかし、工場の人には原発検査に行くことをいやがる。放射能を浴びるため、検査する時間に制限があり、浴びた放射線が記録される。数値によって、次回作業ができなくなる。原発の部品は、放射能を浴びることで、目に見えないがもろくなっている。

る。このように、原発は試験しながら使い続けているもので、今、実験中なのだ。原発の寿命（使用期間）を延ばすというが、この話し合いに環境省は参加していない。原発を利用する側だけで話し合われているのは問題だ。



◆鈴木勝男さん（多摩川） 核兵器禁止条約に署名した国は92か国、批准した国は68か国になっている。日本は批准・署名どころかオブザーバー参加すらしていない。世界から非難されていて、恥ずかしい。核兵器、原発をなくし、美しい地球にするため力を合わせ頑張っていきたい。

◆高山永子さん（多摩川） 長く朝日新聞を購読していたが、東京新聞に購読紙を変えた。今日の東京新聞の読者の欄に、岸田氏は「敵国」ではなく「友愛国」をつくってほしいとの発言が載っていた。私の思いとピッタリなので紹介する。このようなかたちで自分の思いを伝えるのもありかなと思って発言した。



◆司会：佐橋さん 多額の税金を武器に使うのは許されない。この行動を続けてがんばって行きましょう。

第122回「原発ゼロ」調布行動

日時：2023年2月11日(土)

10時半～11時半 於：調布駅前

次回は2月11日。福島原発事故から11年11か月！「調布行動」は第122回目になります。2月の企画・進行・司会も「原発のない暮らし@ちようふ」のみなさんが引き受けてくれます。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとつ」は言ってみようというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとつ」を！と願っています。

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*コロナ・ウイルスへの感染防止の対策をこらして（体調を崩された方は勇気をもって「自宅待機」を）ご参加ください。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！